オリンピック・パラリンピック教育全体計画（案）　　中央区立久松幼稚園

各関係機関との関連

○国際オリンピック委員会（IOC）の目標や取組
　オリンピック憲章
　５つの教育的価値
　「努力する喜び」「フェアプレイ」「他者への尊重」「卓越の追求」「身体、意志、心の調和」
○日本オリンピック委員会（JOC）の目標や取組
○東京都教育委員会の目標や取組
○中央区教育委員会の目標や取組

幼稚園教育目標

○たくましい子
○進んでやる子
○心豊かな子

幼稚園の教育活動との関連

○本園の教育目標「たくましい子・進んでやる子・心豊かな子」を教育活動として具体的に取り組むにあたり、オリンピック・パラリンピック教育のねらいである「スポーツを人類の調和のとれた発達に役立てること、人間の尊厳保持に重きを置き、平和な社会を推進すること」は、重要で効果的な内容である。
○平成25･26年度中央区（教育委員会）研究奨励園として研究主題「豊かな心と健やかな体の育成」を掲げ、研究・実践に取り組んでいる。特に、『多様な運動遊び』を取り入れ、幼児が体を動かして遊ぶことが楽しい、大好きと思うことを目指して実践しており、オリンピック教育の内容につながると考えられる。

オリンピック・パラリンピック教育の目標

○体を動かして遊ぶことが大好きな子どもを育てることを通して、多様な動きの経験をしたり、人との関わりを楽しんだりすることによって、体を動かす心地よさを十分体験し、相手を思いやる心を育む。
○様々な交流活動や国際理解教室をより充実させ、豊かな心を育む。

東京都教育委員会・オリンピック教育推進校

オリンピック・パラリンピック教育に向けた主な取組

○多様な運動遊びを通して体を動かす楽しさを感じられるようにする。
○多様な運動遊びを通して友達と関わり、相手を思いやったり互いのよさに気付いたりする。
○積極的に自国の文化や外国の文化に触れる機会をつくる。

小学校・家庭・地域社会・各機関との連携

・小学校との交流
・幼小合同運動会
・近隣スポーツ施設の活用
・オリンピアン・パラリンピアンと触れ合う

園内環境の整備

・オリンピック・パラリンピックに興味や関心をもたせるように、行事や掲示物する
・体を動かす機会を意図的計画的に取り入れる
・多様な動きを引き出す環境を用意する